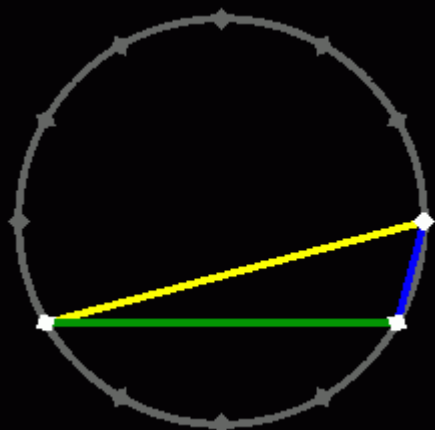


Intervals (DYAD) モード



音程のタイプを表示します。くわしくはこちら www.musanim.com/mam/dyad.htm この表示モードには設定変更できる項目はありません（ただし、MAMモードで“Set as tonic（トニックにする）”に指定したピッチクラスが最上部にきます）。

って、これだけじゃさっぱりわからないので上のリンクにある参照ページから説明を抜粋翻訳（……したつもりですが、間違っていたら教えてくださいorz） ついでにてきとーな説明も加えてみました。

DYADでは、ピッチクラスはWHEELモードと同じように円周上に配置されますが、2つのnoteを鳴らすとその間に線が引かれます。線の色は以下の音程タイプによって決まります。

- 完全4度と完全5度（完全協和音程）はBLUEの線。【心地良い音】
- 3度と6度はGREENの線。（不完全協和音程）【まあまあ心地良い音】
- 不協和音程である長2度と短7度はVIOLETの線。【ちょっと気持ち悪い音】
- さらなる不協和音程の短2度と長7度はYELLOWの線。【気持ち悪い音】
- 最も激しい不協和音程である三全音（増4度）はREDの線。【めっちゃ気持ち悪い音】

和音をDYADモードで鳴らすと、現在鳴っているすべての音程を見ることができます。協和音と不協和音という観点から見た場合、和音の効果とうまく一致しているのが見てとれます。

この和音（「ドミソシ」、ギターコードでいうとCM7）には相当な不協和音である長7度（黄色）がひとつ含まれているが3度（緑）と5度（青）で思い切りやわらげられている。	一方こちらの和音（ドド#ファ#ソ）は不協和音だけで、響きも左の和音に比べてかなり耳障り。

「interval = 音程」の意味。

この表示モードは、音楽教育を受けていない人にとってはすごく難しい「音程」をビジュアル化して見せるもので、上のリンクで説明されている内容を読んでも無学な管理人にはおぼろげにしかわかりません。とりあえず、「短7度」とか「増4度（三全音）」とかいわれてもピンとこない人は、[ウィキペディア](#)などで基本概念を調べてみてください。対位法をこれで観察したりするとおもしろいのかもしれません。